

# 日本地域福祉学会 公開研究フォーラム開催要項

## 【テーマ】地域共生社会の実現にむけた地域福祉の実践・理論課題

### 【ねらい】

地域福祉実践研究会は本学会の30周年記念事業の1つのプロジェクトとして、2016年度より地域福祉の実践と理論を学ぶことを目的に、研究を進めてきました。三鷹市、茅野市、都城市という3つのフィールドの比較研究をもとに、それぞれの地域で地域福祉が形成されていく過程を明らかにし、その裏付けになった理論的背景を踏まえつつ、地域福祉の発展型モデルを示すことができないかという試みを行ってきました。学会としてプロジェクト研究として位置付け、かつ科学研究費(基盤B:代表者 市川一宏)の採択を受けて実施してきました。

時期を同じくして、厚労省では地域共生社会実現本部が設置され、地域力強化検討会による最終とりまとめが報告されました。本研究会での議論と報告書の内容は重なる部分も多く、これからの地域福祉の発展にあたってひとつの転機になるものと期待されています。

最終年を迎えた本研究会では、研究成果を問うにあたって、地域共生社会との関連を意識しつつ、その実現にあたってはより深く、多角的に検討していくことが必要であるという立場から最終報告をしたいと考えています。

### 【日時】2018年1月21日(日) 13:00~17:00

### 【会場】日本ソーシャルワーク教育学校連盟研修室(最寄駅:品川)

東京都港区港南4-7-8 都漁連水産会館6階

※地図をご参照ください。

### 【対象】日本地域福祉学会会員、地域福祉の実践者・研究者、行政職員等

### 【定員】100名(先着順)

### 【プログラム】

開会挨拶 研究会代表 市川一宏(ルーテル学院大学)

#### 第1部 13:05-15:00

##### 「地域福祉実践の多角的な評価と推進課題」

本研究会の調査報告(三鷹市・茅野市・都城市)を中心に推進課題を検討します。

報告者(予定)

小松理佐子(日本福祉大学)、高野和良(九州大学大学院)、菱沼幹男(日本社会事業大学)、妻鹿ふみ子(東海大学)

#### 第2部 15:15-17:00

##### 「地域共生社会の実現にむけた地域福祉のあり方—地域福祉計画のあり方を中心に—」

報告者(予定)

原田正樹(日本福祉大学)、永田祐(同志社大学)、渋谷篤男(全国社会福祉協議会)、室田信一(首都大学東京)

閉会

【資料代】 1,000 円 ※当日、受付にてお支払いください。

### 【申込方法】

「公開研究フォーラム参加希望」と明記し、①氏名（フリガナ）、②所属、③日本地域福祉学会会員・非会員の別、④連絡先（e-mail 又は Fax）をご記入の上、e-mail 又は Fax にてお申込みください。 締切日：2018年1月12日（金）17時まで

申込・お問い合わせ：日本地域福祉学会事務局

E-mail：chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

FAX：03-5495-9332

#### <JR「品川駅」からのアクセス>

- JR 品川駅港南口（東口）から徒歩20分
- 都バス「品川駅港南口バス停」[品99]（『品川埠頭循環』）又は[品99 折返]（『東京入国管理局折返』）に乗車し、3つめのバス停『港南四丁目』で下車 徒歩1分

#### <東京モノレール・りんかい線「天王洲アイランド」からのアクセス>

- 東京モノレール『天王洲アイランド』（南口）又は  
りんかい線（埼京線乗入）『天王洲アイランド』（A 出口）から徒歩15分
- 都バス「天王洲アイランドバス停」[品96 乙]（『品川駅港南口行』）に乗車し、2つめのバス停『港南小学校』で下車 徒歩5分

